

インクルーシブの窓



富山県教育委員会県立学校課特別支援教育班

文部科学省 加藤調査官のご講演をお聞きしました！



7月26日、7月31日の両日、令和5年度富山県小中学校等特別支援教育コーディネーター第2回連絡会議を開催し、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官 加藤典子氏にご講演いただきました。国の動向、一人一人の学びの充実に向けて求められる教師像、特別支援教育の進展に向けた校内支援体制の構築という三つの大きな柱でお話しされ、参加者全員がメモを取りながら最後まで熱心に聞き、多くのことを学ぶことができました。

加藤調査官は、「一人一人の学びの充実に向けて求められる教師像」のお話の始めに、一人一人の発達を支えるための視点を示されました。

- ☆ 気付きから支援を考える
- ☆ 構造化による支援（物理的・時間・授業等）に努める
- ☆ 落ち着いて学ぶことのできる教室環境を整える
- ☆ ことばやからだを育てる
- ☆ 違いや多様性について理解する

基盤となるのは、児童生徒理解と信頼関係

安全・安心に学ぶことのできる学校
～児童生徒の自己理解と自己決定、
自己実現を支える～

また、児童生徒理解と信頼関係構築のために大切なこととして以下のことを挙げられました。

- よいところや強みをたくさん見つける
- 好きなことや興味・関心のあることを見つける
- 得意なことと苦手なことの両面を把握する
- 気になる言動の要因や背景を考えることを癖付けする
- 気になる言動を「〇〇も(なら)できる」と考えることができる
- 児童生徒のモデルとなる言葉遣いやふるまいをする
- 変容や努力をほめたり認めたりする
- 一人一人に対する肯定的な言葉かけをする

講演の内容については、この『インクルーシブの窓』においてもお伝えしていきますが、各学校の特別支援教育コーディネーターの先生方には、学んだことを自身の今後の教育実践に生かすだけでなく、校内の全教職員の方々に積極的に広めていただくことをお願いいたします。なお、講演動画と資料は各学校に配付しています。